

一般入試後期D日程

日本史

●全体の講評

日本史の問題は、時代を見ると、原始・古代から大問1問、中世・近世から大問1問、近現代から大問1問を出題します。大問のなかをA、Bと二つに分けて、異なる二つの時代の問題を出題することもあります。Ⅳでは現代に関する問題も1問を出題します。分野を見ると、政治史、外交史、経済史、社会史、文化史のいずれかを出題します。年代の順を問うもの、資料を用いるものも出題します。

今年の問題では、時代の観点からすると、飛鳥時代、平安時代、室町時代、江戸時代、明治時代、大正時代から出題しました。特定の時代に偏るのではなく、すべての時代を学ぶように心がけてください。日本史が選択科目になっている知的財産学部でも情報科学部データサイエンス学科でも、入学後の学習内容は基本的に近現代に関わるので、近現代を丁寧に学んでください。

分野の観点からすると、政治史、文化史から出題しました。いずれかの分野だけに偏る出題はしていません。近現代史と同様に、文化史にも十分に目を配ってください。

問題の種類という観点からすると、資料問題も出していますが、資料集をすべて暗記することを期待しているではありません。資料集を用いて学んで、その時代のリアルな動きを把握するという学習習慣が身につくことを期待しています。

時代も分野も問題の種類も幅広いですが、大学での学びに重要な内容ですので、日本史の大きな流れを複眼的に学習してください。

●各設問の講評

I

■出題のねらい

古代の政治史を中心に出了ました。Aでは、律令制度の整備についてのリード文を示し、律令の官制や身分制度、農民の負担など、基本的な知識を問いました。Bでは、律令制度の動揺をテーマとしたリード文を示し、荘園整理令や国司に関する知識のほか、武士団の形成から奥州藤原氏まで幅広く問いました。

■採点講評

Ⅰの正答率は約48%でした。各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
Ⅰ	1	①	ア舎人親王は『日本書紀』の編者。ウ官位相当制は位階に相当する官職を定めて任命する制度のこと。

大問	解答 番号	正答	解 説
	2	④	①太政官と神祇官は並び立っていた。 ②国政を統轄する太政官は太政大臣、左・右大臣のほか、大納言・少納言などからなる。 ③中務省は詔勅の起草、国史の編纂などにあたった。宮中の庶務全般を担ったのは宮内省。
	3	②	工問屋場は江戸時代に各宿におかれた公営の人馬貨物を継ぎ替える施設。オ計帳は調・庸を徴収するために毎年作成され、個人の特徴などが記された。
	4	③	①租は中央政府ではなく地方の財源となった。 ②庸の説明。調は各国の特産物を納める負担のこと。 ④衛士は都の警備にあたる兵役。
	5	④	X誤り。家人と陵戸を入れ替えれば正しくなる。 Y誤り。官有の賤民は良民と同じ口分田が、私有の賤民は良民の3分の1の口分田が与えられた。
	6	①	ク村上天皇は醍醐天皇の皇子で、天曆の治とよばれる天皇親政を行った。サ藤原基衡は藤原清衡の子で、毛越寺を建立した人物。
	7	②	①在庁官人ではなく目代。在庁官人は目代の指揮に従って実務にあたる各役人で、現地の豪族などが任命された。 ③藤原陳忠ではなく藤原元命。藤原陳忠は『今昔物語集』に記載されている国司。
	8	③	①作人は名主から土地を借りて耕作する農民のこと。 ②清和源氏の祖は源経基。源満仲は経基の子で、安和の変（969年）で清和源氏発展の基礎を築いた人物。 ④北面の武士ではなく滝口の武者。北面の武士は白河上皇が11世紀末に設置した。
	9	②	X正しい。Y誤り。藤原秀衡ではなく泰衡。

II

■出題のねらい

中世と近世の文化史を中心に出题しました。Aでは、室町期の文化についてのリード文を示し、南北朝文化・北山文化・東山文化のそれぞれの代表的な人物についての基本的な知識を問いました。Bでは、江戸期の文化についてリード文を示し、洋学や国学に関する基本的な知識を問いました。また、『蘭学事始』を用いた史料問題も出题しました。

■採点講評

Ⅱの正答率は約33%でした。各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答 番号	正答	解 説
Ⅱ	10	④	①『大鏡』ではなく『増鏡』。『大鏡』は院政期に成立した歴史物語で、藤原道長の栄華を批判的に記述している。 ②『梅松論』の著者は不明である。北畠親房は『神皇正統記』で南朝の正統性を主張した。 ③侘茶ではなく闘茶。侘茶は侘びを重んじる茶の湯の形態で、東山文化期に村田珠光が創始した。
	11	②	①南禅寺は五山の別格とされた。京都五山第1位は天龍寺。 ③周文ではなく如拙。周文の代表作は『寒山拾得図』。 ④観阿弥ではなく世阿弥。
	12	①	②雪舟の作品は『大仙院花鳥図』ではなく『四季山水図巻』など。『大仙院花鳥図』は狩野元信の作品。 ③狩野派を創始したのは狩野正信・元信父子。 ④今様ではなく小歌。今様は院政期に流行した。
	13	②	I 南北朝時代に二条良基が『応安新式』などで連歌の地位を確立。→Ⅲ 東山文化期に宗祇が正風連歌を創始。→Ⅱ 戦国時代に宗鑑が俳諧連歌を創始。
	14	③	南学の祖とされる南村梅軒が土佐を訪れたとされている。
	15	③	キ徳川家重は9代将軍。ク長崎貿易の制限緩和は田沼意次の政策。
	16	③	X 誤り。新井白石ではなく杉田玄白のことである。Y 正しい。
	17	④	①賀茂真淵ではなく本居宣長。賀茂真淵は宣長の師。 ②本居宣長ではなく賀茂真淵。また、『古事記伝』は宣長の著書。 ③垂加神道ではなく復古神道。垂加神道を大成したのは朱子学者の山崎闇斎。
	18	①	サ大原幽学は19世紀前半に日常の道德（性学）を説いた農民指導者。 シ適々齋塾（適塾）は緒方洪庵が大坂に開いた私塾。

Ⅲ

■出題のねらい

近代の政治史を中心に出題しました。Aでは、自由民権運動をテーマとしたリード文を示し、大阪会議の影響や政府による民権運動を弾圧するための法令、明治十四年の政変の背景となった出来事など、一連の動きについての基本的な知識を幅広く出題しました。Bでは、桂園時代についてのリード文を示し、第1次・第2次山県内閣、第1次桂内閣・第2次西園寺内閣のそれぞれの事績や当時の出来事についての基本的な知識を問いました。

■採点講評

Ⅲの正答率は約46%でした。各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解説
Ⅲ	19	①	1875年、大阪で愛国社が結成された。
	20	②	福島事件（1882年）では、福島県令三島通庸に反発する河野広中ら自由党員らが逮捕された。
	21	④	1886年、星亨らが国会開設に備えるために、「大同団結」（小異を捨て大同を旨とす）をとなえて大同団結運動を展開した。
	22	③	X誤り。木戸孝允は台湾出兵（1874年）をめぐる下野していた。Y正しい。
	23	⑥	Ⅲ 讒謗律（1875年）→Ⅱ 集会条例（1880年）→Ⅰ 保安条例（1887年）
	24	②	①大久保利通ではなく伊藤博文。大久保利通は明治十四年の政変（1881年）以前に紀尾井坂の変（1878年）で暗殺されていた。 ③罷免されたのは大隈重信。 ④板垣が結成したのは自由党。立憲改進黨の党首は大隈重信。
	25	③	①第1次山県有朋内閣ではなく、第1次伊藤博文内閣の山県有朋内務相。 ②第1次山県内閣ではなく第1次松方正義内閣。 ④第2次山県内閣では納税資格は10円以上とされた。3円以上に引き下げたのは原敬内閣。
	26	④	伊藤博文や山県有朋などは、政治の第一線から退いた後も、元老として後継首相の選任や重要政策に関与・干渉した。
	27	⑤	中国で辛亥革命（1911～12年）が起こると、韓国併合を断行して植民地化した朝鮮への影響を恐れて、陸軍の朝鮮への2個師団増設の要求は強まった。
	28	①	①第2次西園寺公望内閣の陸相は上原勇作。

大問	解答番号	正答	解 説
	29	②	①桂太郎は日英同盟論をとっていた。 ③第1次西園寺公望内閣、 ④第2次桂内閣のときの出来事。
	30	③	①第1次西園寺公望内閣、②④第2次桂太郎内閣のときの出来事。

IV

■出題のねらい

弥生時代の墓制といった原始・古代に関するものから、日本国憲法の制定といった近現代の事象にいたるまで、すべての時代と分野を出題範囲として基本事項を幅広く出題しました。

■採点講評

IVの正答率は約49%でした。各問題の解説は以下のとおりです。

大問	解答番号	正答	解 説
IV	31	②	数個の支石の上に大きな主石を乗せた形状の支石墓は朝鮮半島南部の墓制の影響を受けている。
	32	①	X Y正しい。
	33	③	①物部尾輿ではなく、尾輿の子の物部守屋。②推古天皇は厩戸王のおば。 ④飛鳥寺は蘇我馬子が建立した蘇我氏の氏寺。厩戸王が建立したのは四天王寺。
	34	②	①大犯三カ条は守護の職務。③新補率法が適用されたのは新補地頭のみ。 ④藤原元命は平安時代に百姓らから訴えられた尾張の国司。
	35	①	②後小松天皇と後亀山天皇が逆。 ③武士として初めて太政大臣に任じられたのは平清盛。 ④足利尊氏に関する内容である。
	36	④	①今井宗薫は堺、②末次平蔵は長崎、③末吉孫左衛門は摂津の豪商。
	37	④	①興讓館は米沢藩、②弘道館は水戸藩、③日新館は会津藩の藩校である。
	38	③	①義和団事件（1900～01年）は列強の中国分割への反発などから起こった排外的農民運動。 ②甲申事変（1884年）は金玉均ら独立党によるクーデタ。 ④壬午軍乱（1882年）は大院君を支持する軍隊が閔氏一族に対して起こした反乱。

大問	解答 番号	正答	解 説
	39	①	<p>②片岡直温ではなく井上準之助。片岡直温は取付け騒ぎのきっかけとなる失言をした第1次若槻礼次郎内閣の蔵相。</p> <p>③五・一五事件（1932年）では犬養毅首相が殺害された。斎藤実内大臣は二・二六事件（1936年）で殺害された。</p> <p>④統制派と皇道派が逆である。</p>
	40	②	<p>X正しい。Y誤り。参議院ではなく貴族院。参議院は日本国憲法によって設置されたものである。</p>